



議会だより



勇気をもって
飛びだそう

おもな内容

令和4年度 決算認定	4
もっとくわしく質疑応答	8
一般質問（6人）	13

一般質問の動画は
こちらから



にちなん十色親子運動会 9月30日

一般会計補正予算

電力・食料品価格高騰対策に4169万円

新型コロナウイルス感染症は5類に移行した後も感染者の発生がみられ、終息には至っていない。また、多品目にわたる異常な物価高が続いている。この度の補正予算は町民の困窮の現状を踏まえ、町民生活支援、災害復旧など、総額1億279万円について審議した。

保健医療関連事業

带状疱疹ワクチン助成 追加150件分

6月補正50件を超える希望があり、
150件分を追加
自己負担5000円×2回まで接種できる

510万円

- ・対象者：50歳以上の住民
- ・不活化ワクチンは2回接種、10年有効
(生ワクチンは1回接種、5年有効)

日南病院と日野病院は助成券を持参すると、
自己負担1回5000円で接種できる
他の医療機関は全額負担で接種後助成申請する

日南病院基礎調査業務委託

基本構想策定基礎資料として移転改築を含む候補地選定に係る基礎調査業務委託料

242万円



移転改築を検討する日南病院

特別医療費助成条例一部改正

18歳以下の医療費負担を無料に
(令和6年4月～)

ここに注目

おもな物価高騰対策

たったもカード ひとり1万円の スペシャルポイント付与

電力・ガス・食料品価格高騰対策

4049万円

対象：R5.9.7住民基本台帳登録者
目的：食料品等の価格高騰の影響を受けている町民の負担を軽減する
町内経済活性化を促進する
有効期限：令和6年4月30日



町内で利用し、経済活性化を

議決したその他の議案

生活困窮世帯光熱費助成

120万円

- ・対象：生活保護受給世帯
児童扶養手当受給世帯
- ・助成継続実施4ヶ月
(令和5年12月～令和6年3月)
- ・6000円×4ヶ月×50世帯

財産の取得

消防ポンプ自動車購入
福栄分団へ配備
現消防ポンプ自動車は売却予定

農業委員会委員任命同意

大塚 清子(折渡)
(任期は、令和7年5月18日まで)

一般会計補正予算

- ・危険木等事前伐採委託料 200万円
- ・清掃センター緊急修繕費 303万円
- ・日南邑緑の館改修工事の増額 700万円
- ・ゆきんこ村厨房エアコン等改修工事 160万円
- ・林業専用道整備支援 330万円
- ・イラスト無断使用和解損害賠償額 31万円
- ・認定こども園にかかる経費
パート職員通勤手当・
山の上分園修繕・芝刈り機等 197万円
- ・林道窓山線路肩崩落復旧
台風7号災害での路肩復旧 1030万円



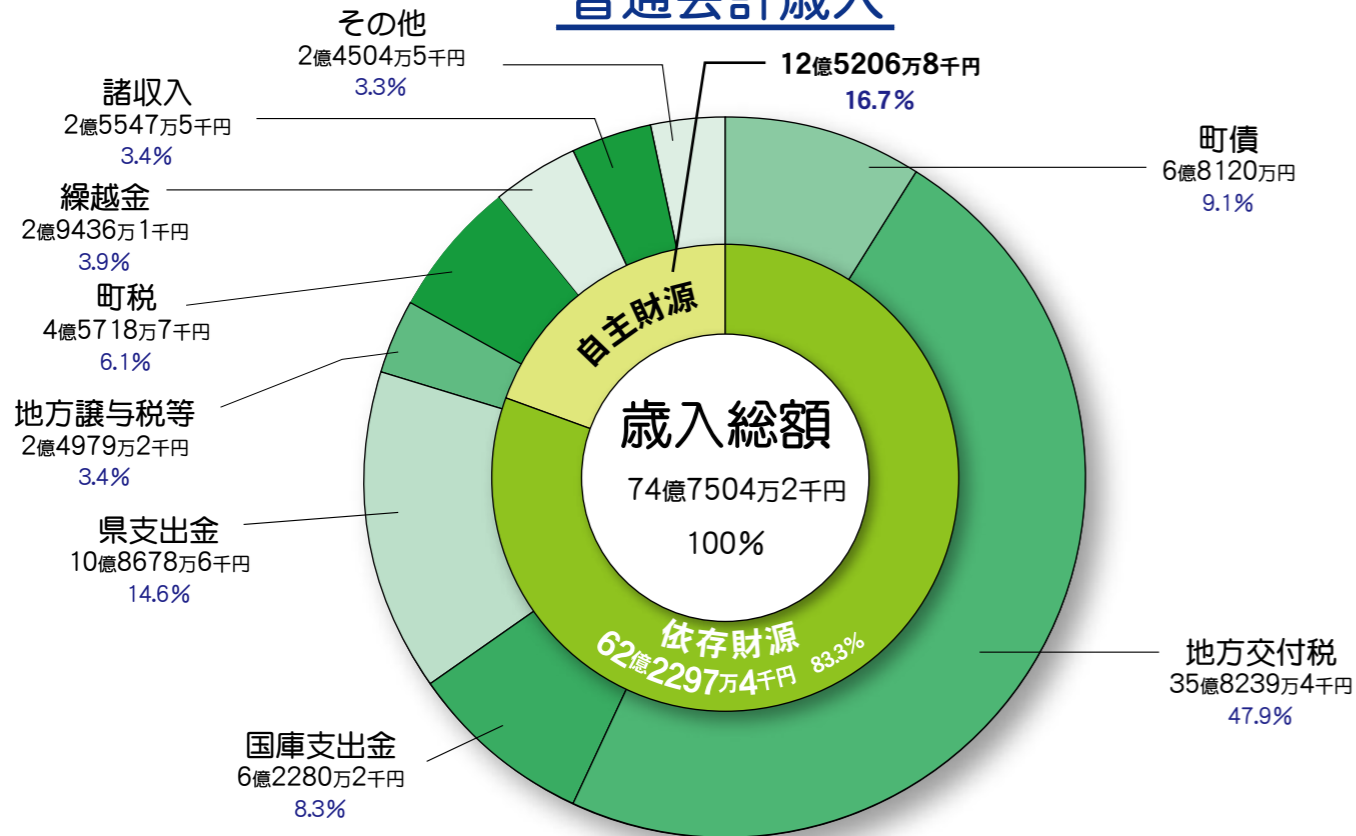
路肩崩落

日南町議会の9月定例会は、9月5日から27日までの23日間の会期で開かれました。一般質問では、6人の議員が登壇し活発な議論を展開しました。執行部から提案された財産の取得、工事請負契約の変更、特別医療費助成条例の一部改正、農業委員会委員の任命、令和5年度各会計補正予算、令和4年度決算承認など全21議案は原案のとおり可決しました。(審査報告は7ページに掲載)

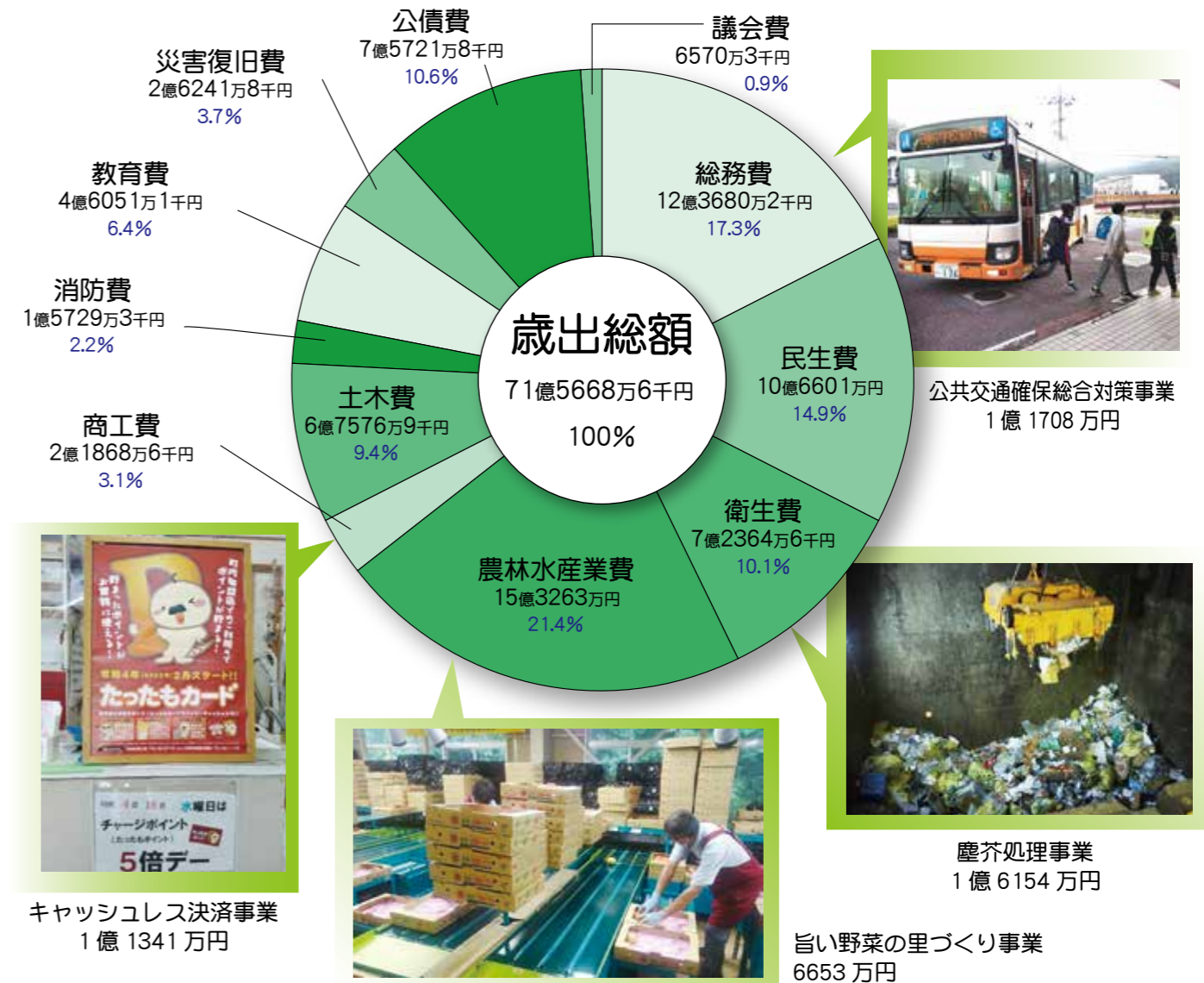
令和4年度決算を認定

9月定例会に提案された令和4年度一般会計などの決算認定議案は、一部の会計で賛否が分かれていましたが、全議案が認定されました。（関連記事は6～10ページ）

普通会計歳入



普通会計歳出



普通会計・各特別会計の決算状況

会計別	決算		差引残額
	歳入総額	歳出総額	
普通会計	74億7504万2千円	71億5668万6千円	3億1835万6千円
国民健康保険特別会計	5億9807万0千円	5億9766万1千円	40万9千円
介護保険特別会計	9億5915万3千円	9億336万1千円	5579万2千円
介護サービス事業特別会計	6021万3千円	6021万3千円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億12万6千円	9988万2千円	24万4千円
再生可能エネルギー発電事業特別会計	3151万0千円	2600万4千円	550万6千円
合計	92億2411万4千円	88億4380万7千円	3億8030万7千円

用語説明

地方譲与税とは？

国税を客観的な基準で地方公共団体に譲与するもの。地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、特別法人事業譲与税、森林環境譲与税などがあり、令和4年度は総額2兆7622億円が譲与されています。日南町の令和4年度一般会計歳入決算には、地方揮発油譲与税1453万円、自動車重量譲与税4350万円、森林環境譲与税7431万円、計1億3234万円の地方譲与税が計上されています。

各企業会計の決算状況（令和5年3月31日現在）

会計別	内容	決算		差引残額
		歳入総額	歳出総額	
簡易水道事業	収益的収支	1億7366万0千円	1億4681万9千円	2684万1千円
	資本的収支	438万1千円	9878万9千円	△9440万8千円
下水道事業	収益的収支	1億8755万8千円	1億5778万0千円	2977万8千円
	資本的収支	1604万6千円	9073万1千円	△7468万5千円
病院事業	収益的収支	12億3901万0千円	12億2681万6千円	1219万4千円
	資本的収支	5060万2千円	1億3182万3千円	△8122万1千円

令和4年度決算の監査委員意見要旨



代表監査委員 高見 正司
監査委員 荒木 博

全般的事項

決算附属資料の「主要施策の成果及び財産に関する調査」については、その成果と課題について触れている所属課がある一方、未記載の所属課も見られる。積極的に示していただきたい。また、金属製の屋根の改修が複数件あったが、早めの調査を行い改修の費用を抑えるように対応すべきである。

未収金の徴収業務

未収金の取組会議は年2回開催と規定されているが、令和4年度は1回も開催されていない。過年度分の未収金の回収はもちろんである。

るが、現年度分の新たな未収金が発生しないよう努めていただきたい。

介護予防普及啓発事業

いきいき百歳体操では、週一回開催する団体が38団体、65歳以上の参加者は476人であった。過年度との比較から運動機能の低下防止や物忘れの予防に対する効果が認められた。

令和4年度は、各地域での日南病院の理学療法士による体力測定や個別指導を行った。日南病院と連携した事業展開は重要なことと考える。

山里Loadにちなん委託事業

令和4年度から「青年結婚、Uターン促進事業」と「観光振興対策事業」の2事業を7739万円で委託することとなった。公園や旧木下家の管理、ホテルの観察(900人)、银杏イベント(5000人)、などのイベントを9人のスタッフで取り組まれている。すでに準備を進めている生山駅、石見駅開業100周年記念等のイベントにより、多くの皆さんが来町していただくことを期待する。



賑わう生山駅開業100周年50日前イベント

再生可能エネルギー発電事業

新石見小水力発電所導水路復旧工事は、今後も修繕工事が見込まれるので発電の早期再開を行うために、工期や時期を考慮して発注されたい。

庁舎管理事務

電算室を日野川河川氾濫等の災害に備えるため、車庫棟2階に移設したが、旧電算室の利用についての移転完了後の対応がなされていない。庁舎の災害対策の観点からも対応マニュアルの作成を早急にしていただきたい。

決算審査特別委員会の審査報告

令和4年度一般会計をはじめ各会計の審査をするために設置しました。(議長を除く8人で構成、委員長・近藤仁志議員、副委員長・岩崎昭男議員) 9月7日から20日までの間で詳細な審査を行い、その結果、次の意見を付していずれの決算議案も認定すべきと決定しました。

全般 (審査意見)

主要施策の成果及び財産に関する調査には補正予算の内容が記載されていないため、予算の執行状況を確認しがたい。調査に補正の内容も併記され審査に配慮されたい。

住民課

【税務総務管理事務】

町税の収入未済額はおよそ19.5万円増加している。滞納金の実態把握と具体的な回収方法を検討するため町税等未収金取組み会議を設置しているが、令和4年度は一度も開催されていなかった。

要綱の定めによる年2回の会議を開催し、事務事業のスケジュール管理の対策を行うこと。

【環境保全対策事業】

空き家対策特別措置法に基づき、空き家等が管理不全な状況になることを防止するため空き家対策協議会を設置しているが、令和3年、4年と2年間一回も開催されていない。

空き家の適正管理や老朽危険家屋の評価等重要な協議会なので定期的な開催をすること。

地域づくり推進課

【観光振興対策事業】

令和4年度から移住定住関連事業及び観光振興事業の多くを山里Loadにちなんへの委託事業として実施することとなった。

外部委託した場合と町自らが実施した場合のコスト及び効果が客観的に評価できるような具体的な数値として「見える化」を図られたい。



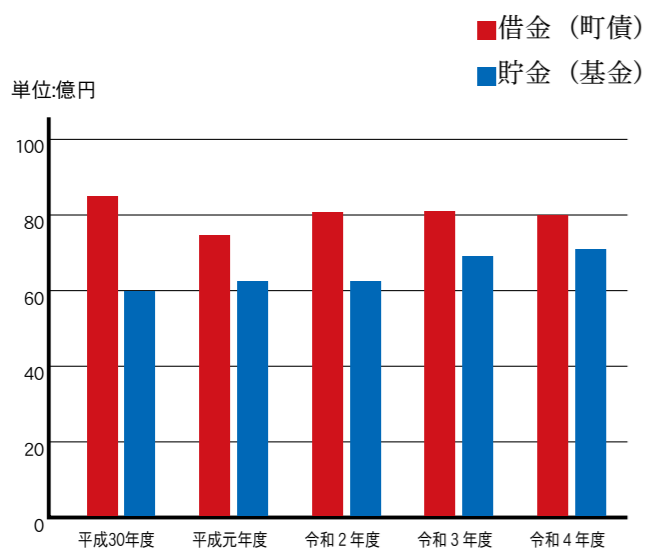
ホテル観光シャトルバスの運営

教育委員会

【学校給食運営事務】

令和4年10月の全員協議会において、学校給食に使用する米の変更について報告があったが、米の選定基準については明確な説明がなされなかった。今後は納入業者や米の選定の基準を明らかにし、公平な学校給食運営に務められたい。

借金・貯金はどれだけある？



令和4年度末の日南町の借金(町債)は、80億9105万円あります。一般会計と特別会計の合計額。(事業会計を除く) 貯金(基金)は、70億8510万円あります。町民1人あたりで計算すると、借金は198万円(4万円の増額)で、貯金は174万円(11万円の増額)となります。(人口は令和5年3月31日現在4081人)

令和4年度財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告

比率名	比率の内容	判定
実質赤字比率	一般会計の赤字の程度を指標化し、財源の規模と比較して指標化	黒字で良好
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字や黒字を合算し、財源の規模と比較して指標化	
実質公債費比率	借入金の返済額を指標化し、標準財政規模と比較指標化(25%以下)	7.2%で良好
将来負担比率	借入金残高や将来支払うべき負担等を指標化した、財政の圧迫度	マイナスで良好
資金不足比率	公営企業の資金不足と、料金収入と比較して指標化	資金不足なし

日南町の財政は黒字経営であり、将来負担額に対して充当可能財源が上回っているため、借入金の返済も将来財政を圧迫する可能性は低いということになります。

令和4年度決算認定の質疑を行いました。

公用車の管理

問 車両管理は、総務課が管理、合計31両、使用に際し鍵の管理、使用記録簿の作成。
問 町有バス運転手報酬の減額要因は。
答 運転業務を正職員にて対応のため。

自衛官募集

問 名簿提出はしていないか。
答 自衛隊からの依頼でしている。
問 個人情報であるが該当者は。
答 自衛隊と担当で打ち合わせして高校3年生に送付している。

消防管理

問 決算額の増加要因は。
答 火災が6件と出動回数が増えた。

問 火災予防に対する広報は、防火パレード等啓発活動をしている。また、広域消防でパトロールしている。
問 消火栓工事の入札に至るまでの手順が公平でないのでは。
答 事前に各社の見積もりをとって、案件ごとに発注している。見積もり依頼の改善、自前で設計に取り組む。

消防施設整備

問 消火栓工事の入札に至るまでの手順が公平でないのでは。
答 事前に各社の見積もりをとって、案件ごとに発注している。見積もり依頼の改善、自前で設計に取り組む。



新設された消火栓

防災対策

問 広域避難訓練とは。
答 南部町大木屋地区と菅

沢地区と合同で避難訓練を実施した。
問 ドローンの活用は。
答 防災訓練に活用した。雪害による倒木調査、施設屋根の点検、農地確認にも使用している。

問 借入れが確定してない部分も計算しているのか。
答 繰越事業はいつ借入れるかによって利率などが変わる。最悪のシナリオを描いた計算を行い、予算編成の協議の中で利用している。

公債償還のシミュレーション

問 借入れが確定してない部分も計算しているのか。
答 繰越事業はいつ借入れるかによって利率などが変わる。最悪のシナリオを描いた計算を行い、予算編成の協議の中で利用している。

行政ポイント付与

問 生活支援ボランティアに対する行政ポイントの付与の実績は。
答 64歳以下(2人)にも拡大している。2人に6000ポイント。65歳以上(17人)に81000ポイントを付与した。

シルバー人材センター

問 事業はインボイス制度

の対象か。
答 社会福祉協議会の下部組織で売り上げも10000万円以内なので対象外。

地域生活支援

問 自動車改造費助成事業の内容は。
答 車椅子対応とハンドル改造を対象に、上限10万円を助成。総事業費は22万6千円。

介護人材育成

問 介護人材育成奨学金制度が活用されていないが。
答 町外在住者も対象とするよう奨学金制度の見直しを行った。人材確保のため、研修の際や就職説明会の時に積極的にPRしている。

ふるさと納税

問 日南町民が他自治体へ寄付したふるさと納税金額は。
答 534万円。
問 本町受入のふるさと納税額は、2288万円。

たつたもカード

問 地域内経済循環効果をどう評価しているか。
答 マネー部分の利用が前年比34.2%アップ、利用が浸透してきていると推察。加盟店の状況も、今後把握していく。また、加盟店を増やし利用促進を図っていく。

地籍調査

問 調査費用の財源は。
答 補助率75%の補助金を活用。
問 地域ごとの進捗率に大きな違いがあるのは。
答 地域により理解が得られなかったり、着手が遅くなったため。



38%が完了した地籍調査

がん検診

問 モデル地区事業は。
答 大宮地区で無料送迎を行い5人の利用があった。保健師、管理栄養士による訪問を行い、がんだけでなく多くの疾病が発見され早期治療に結びついている。



早期発見に繋がる検診

公共交通

問 デマンドバスの利便性は向上したが、朝夕の便についての検討は。
答 スクール便を兼ねた運行時間については、関係機関と調整していく。

認定こども園

問 保護者連絡用アプリの利用状況は。
答 一斉連絡、欠席確認等に活用し、教諭の負担軽減になっている。
問 分園の将来の方向性は。
答 分園のあり方について、5年度から検討する。

外国語教育

問 英検合格者は。
答 53人受験し、3級11人、4級7人、5級11人。
問 オンライン交流は。
答 時差の問題がある。日南は朝の授業前。シアトルは自宅から。
問 シアトル海外派遣は。
答 希望者20人中17人参加している。

農地土地改良

問 圃場整備の要望及び未着工の件数は。
答 農林基盤交付金を活用し要望の次年度に実施、令和5年度8ヶ所予定。

ふるさと公設塾

問 日南町にも公設塾の拠点を設けた効果は。
答 4年度は中学生も受講可能になった。塾生は中学生8人、高校生2人、講師は現在1人だが、2人体制を検討している。

農業委員会事務

問 農地パトロールの結果は。
答 農地に戻すことができるA判定は増え、農地に戻すことが困難なB判定は減った。
問 判定後の所有者に対する調査、意思確認は。
答 耕作の意思がないものは農地台帳から除外している。

森林保全総合

問 Jクレジット販売額は。
答 1200トンで104万3千円。
問 収支のリスト、出納の管理方法は。
答 電子データ管理している。
問 Jクレジット運用基金は活用されているか。
答 活用ができていない。

堆肥生産

問 令和4年度生産量は。
答 1360.5トン、ゆきまんまん構想に連動している。
問 春と秋に必要な数量を確保されているか。
答 必要な数量は確保されている。

小規模零細地域対策

問 菅が谷ブライラー生産団地の維持管理について予定変更はないか。
答 生産組合と今年度末までに協議、令和6年3月に譲渡予定。

木材団地新規造成地

問 追加造成地の工場等の進出計画が止まっている経過、問題点等認識は。
答 相手方との協議は行っているが結論がでない。今後の状況は逐次報告する。

町有林

問 新植面積が少ないのは人員不足、作業員の高齢化等が影響しているか。
答 令和5年度で対応予定。民有林も含めて、町内で年間30ヘクタールが目標。造林班の増員をしている。



皆伐が終わった町有林

9月定例会 審議結果

○可決した議案

令和5年度補正予算	一般会計補正予算(第4号)	令和4年度決算認定	一般会計
	簡易水道事業会計補正予算(第1号)		国民健康保険特別会計
	下水道事業会計補正予算(第1号)		介護保険特別会計
	病院事業会計補正予算(第2号)		介護サービス事業特別会計
	一般会計補正予算(第5号)		後期高齢者医療特別会計
条例	日南町特別医療費助成条例の一部改正		再生可能エネルギー発電事業特別会計
その他	専決処分の承認を求めることについて(工事請負契約の変更について)		簡易水道事業会計
	財産の取得について(消防ポンプ自動車購入(CD-1型))		下水道事業会計
	和解及び損害賠償の額を定めることについて 日南町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		病院事業会計

○否決した議案

発議	土地利用規制法の廃止を求める意見書提出	発議	福島第一原発の汚染水（ALPS処理水）の海洋放出中止を求める意見書提出
	<p>反対 近藤仁志議員 外国人所有の筆数が確認できたことは本法律が十分機能していると言える。本法律を廃止すれば重要施設機能を阻害される恐れが増大することは容易に推測できる。 (高橋、荒木、岩崎、大西、櫃田、近藤)</p> <p>賛成 岡本健三議員 調査対象や内容など核心部分が政府にゆだねられているのが問題である。実際に、防衛省本省が特別注視区域から外れる恣意的な運用がある。 (荒金、岡本)</p>		<p>反対 大西 保議員 放出された処理水に含まれるトリチウムの濃度は、日本の安全基準の40分の1以下であり、IAEAによる定期的なチェックも行われている。 (高橋、荒木、岩崎、大西、櫃田、近藤)</p> <p>賛成 荒金敏江議員 IAEAは「放射線の影響はごくわずか」というだけで安全を保障してはいない。地元の漁協や自治体の理解が得られるまで、放出を中止すべき。 (荒金、岡本)</p>

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、9月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。
なお、賛成・反対とあるのは、陳情原案に対する討論です。

案 件	採択結果	審 査 意 見
消費税インボイス制度の実施中止を求める陳情 提出者：鳥取県民主商工会連合会 会長 奥田 清治	不採択	制度導入に当たっての課題として、免税事業者が課税事業者になれば事務負担の増加等があるが、仕入れ税額控除に関する経過措置や2割特例制度の支援策を設けてあり、今後も更なる支援を検討されており、導入目的である消費税の公平性を確保する観点からインボイス制度は必要と考える。
反対 荒木博議員 インボイス制度は消費税の透明性と公平性を高めるために実施されるものである。今この時点で中止すれば混乱を招く。 (高橋、荒木、岩崎、大西、櫃田、近藤)		賛成 岡本健三議員 多くの免税事業者が廃業の危機にある。その証拠に52万筆の反対署名が集まった。中小企業団体、税理士団体のほか自民党にも問題視する声がある。 (荒金、岡本)

令和4年度 決算認定



一般会計

反対 岡本健三議員

会計年度任用職員の休暇や手当について正職員との格差是正を図るべき。
自衛隊からの求めに応じ本人または家族の同意なしで該当者名簿を提供していた。これは憲法が定めるプライバシー権を侵害恐れがある。

反対 荒金敏江議員

ドア・ツー・ドアデマンドバスは朝夕及び土日は運行されていない。早急に改善すべきである。
一般廃棄物であるプラスチックの資源化を早急に検討すべきである。また、ごみの減量化について住民へ働きかけをすべき。

賛成 岩崎昭男議員

令和4年度決算歳出額は71億5836万1千円で、予算の執行率は89.7%となっている。令和3年度の予算執行率は87.0%、令和2年度は85.5%であり、この3年間を比較すると令和4年度の予算執行率は高く、おむね予算に沿った執行がなされた決算である。

国民健康保険特別会計

反対 岡本健三議員

未就学児の均等割が半額免除となったが、18歳以下全員に対し全額免除とすべきである。

賛成 大西 保議員

子育て支援策があるので、国が示すとおり、現時点においては国民健康保険の未就学児の均等割半額免除は妥当である。

介護保険特別会計

反対 荒金敏江議員

2億円以上の積立がある介護給付費準備基金を介護保険料軽減に充てることを検討すべき。
第9期介護保険事業計画策定にあたり実施した高齢者ニーズ調査に、聴力についての設問を設けるべき。

反対 岡本健三議員

介護給付費準備基金が2億円以上あるのは介護保険料を取りすぎたことである。適正な基金の積立額を示すべきである。

賛成 荒木 博議員

コロナ禍にあっても介護予防、介護サービス、認知症対策等に適切に取り組んだ。
介護給付費準備基金は介護保険事業の財源が不足した場合に繰り出すもので、常習的に繰り出すものではない。

後期高齢者医療特別会計

反対 岡本健三議員

後期高齢者を別枠で囲い込み負担を押し付ける後期高齢者医療制度はリスク分散がしづらく安定した制度運用が望めない。元の老人保健制度に戻すとともに国庫負担を増額し国民負担を軽減すべき。

賛成 櫃田洋一議員

国民皆保険制度の維持をしていくための制度である。医療の安全とサービスの質を落とさないために必要なものである。

○令和4年度決算認定の賛否内訳（賛否の分かれたもの）

件 名	結果	(欠員)	高橋洋志	荒木博	荒金敏江	岡本健三	岩崎昭男	大西保	櫃田洋一	近藤仁志	山本芳昭
一般会計	認定	—	○	○	×	×	○	○	○	○	—
国民健康保険特別会計	認定	—	○	○	×	×	○	○	○	○	—
介護保険特別会計	認定	—	○	○	×	×	○	○	○	○	—
後期高齢者医療特別会計	認定	—	○	○	×	×	○	○	○	○	—

※山本芳昭議員は議長のため、賛否の表明はしません。

一般質問 問と答



大西 保 議員

問 養豚場の「現在の規模」とは

答 現在の面積が基軸になる

問 現時点の養豚場の建設計画の進捗は。また、町として今後どのような対応をするのか。

町長 県の許認可手続き等に向けて土地造成計画を作成している段階である。今後町は、「第1回養豚場建設に係る連絡協議会」で要望のあった2項目、処理水を河川に放流しない方策の検討と解体工事終了までに地元への事業計画の説明を求め、また、協議会の定期的な開催、県との情報共有などに取り組んでいく。

副町長 解体工事の進捗状況は8割程度終わっている。と事業者から聞いている。

問 5月2日に社長との面談時の記録に「新たに林地開発は考えていない」とあるが、現在の農場の敷地13ha以内なのか。

町長 お見込みの通り。解体状況も確認している。新たに1ha以上の開発には、開発許認可

問 要件で地元同意が必要となるが、同意しない場合町はどうなるか。

農林課長 県の許認可の書類として地元同意が必要であるので許認可が難しいと考えている。

問 「現在の規模で事業を進める」とあるが、規模とは面積なのか、建物または飼育頭数なのか。現在の面積が基軸になると認識している。

町長 現在の面積が基軸になる。と認識している。



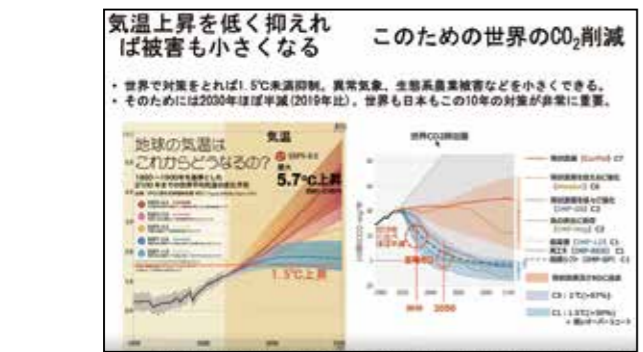
解体された農場建屋

問 6月30日に第2期「まち・ひと・しごと創生」日南町総合戦略」と第三者評価委員会が開催されたが、町長は委員会の結果の報告を受け、どのような対応をするのか。

町長 私も出席し推進状況を確認した。23項目の内半数以上が達成または順調との評価であったが、社会増減のプラス推移とか、ふるさと納税の寄付額が遅れている項目については、副町長や担当課長に取組を加速するよう指示をした。

問 遅れている10項目のうち、外国人技能実習生計画11人に対し、総合診療医1人に対し、子育て応援企業宣言170社に対し、進捗率0%の状況をどう捉えているか。

町長 新型コロナウイルス感染症の影響により十分な取組ができなかった部分もあるが、「第二期」の終期までの残り一年半、目標達成に向けて推進していく。



環境教育セミナー



福栄分団に配備予定のポンプ自動車

問 事前調査は担当者打ち合わせであり経費はかかっていない。詳細な調査と伐採の予算を計上した見込みでは2カ所実施する。

答 事前調査は担当者の打ち合わせであり経費はかかっていない。詳細な調査と伐採の予算を計上した見込みでは2カ所実施する。

問 ゆきんこ村でロボット芝刈機の試験運用をしていますが、結局は乗用の芝刈機を購入した。サツカーのゴルフポストの網など障害物に弱いとの話もあるが、ロボット芝刈機の評価は。

答 県とのやり取りの中で

問 調査を早められないか。年明けには候補地の案を出す予定である。

答 基礎資料として調査が必要とのことだが、具体的に何を求めるのか。

答 現在地を含めた場所の選定をする。まずは地図上



土砂の浚渫が完了した沈砂池

問 現在所有している車輛は売却する予定である。

答 売却する予定である。

問 事前調査の経費は県の負担か。何カ所伐採するのか。

答 事前調査は担当者の打ち合わせであり経費はかかっていない。詳細な調査と伐採の予算を計上した見込みでは2カ所実施する。

問 具体的な修繕の内容は。煙道の伸縮管のエクスパンションと排ガスの濃度記録計の修繕である。

問 当初予算の3分の1、700万円と大きな額だが工事の内容は。

答 当初予算で改修するシャワー施設の生活雑排水を個別浄化槽へ流せなかつたため、本館の合併浄化槽へ流すための改修である。

問 調査期間は。契約日から来年3月31日までが調査期間である。基本構想を今年度に策定するので、調査も今年度末までである。

問 調査期間は。年明けには候補地の案を出す予定である。

答 基礎資料として調査が必要とのことだが、具体的に何を求めるのか。

答 現在地を含めた場所の選定をする。まずは地図上

問 設置する進入路を恒久的に使用するのか。

答 恒久的に使用する。木材団地を造成した当初からある沈砂池で、町有地に入路を整備する。土砂の浚渫は木材団地の関係企業が行う。

問 下谷中鉄山跡の国史跡指定の道筋は

答 令和7年の指定を目指す



近藤仁志 議員

問 国、県の文化財専門部署の反応は。
教育長 文化庁職員および県文化財課による令和2年の現地調査と今年度の協議において、国



発掘で明らかになった元小屋の場所と規模

問 学術調査の進捗と成果は。
教育長 7月末をもって現地での発掘調査は終了。製鉄炉（高殿）、事務所跡（元小屋）の床面およびその規模を確認した。来年は、「鍛冶場」の発見を目指したい。

将来的には本町の周遊型観光メニューとしての活用を検討したい。

町長 昨年度は大山山麓協と連携して、日南刀剣たたら女子ツアーを開催、参加者7人。今年は山里Roadにちなん主催で、5月にたたら遺構ウォークキングを12人参加で開催、次回は11月を予定している。

問 価値を高めて観光資源として活用したいと述べられたが。
町長 昨年度は大山山麓協と連携して、日南刀剣たたら女子ツアーを開催、参加者7人。今年は山里Roadにちなん主催で、5月にたたら遺構ウォークキングを12人参加で開催、次回は11月を予定している。

問 国史跡指定は想定より早まるのか。
教育長 国の史跡になっているたたら場は全国に3つしかない。引き続き発掘調査を行うとともに、県と協力して古文書の解読を進め学術的に証明し、早ければ令和7年に国史跡の指定を受けたい。

性はある。

町長 一つの提案と伺った。旧木下家の文化的価値や成り立ちも加え、後世に残しながら活用する考えであるが、民間にも情報を発信し、提案をいただきたいので、その中で常設展示場設置の可能性はある。

問 現状では人の関心を引き付ける取り組みが一つもない。旧木下家の佇まいの中で感じるたたら文化は特別で、常設展示場は考えられないか。立派な門長屋を開放し、人を招き活用の方策を探るところから歩みを始めたかどうか。
町長 旧木下家の文化的価値や成り立ちも加え、後世に残しながら活用する考えであるが、民間にも情報を発信し、提案をいただきたいので、その中で常設展示場設置の可能性はある。

問 旧木下家の活用については、様々な模索をされたがその後の活用実態が見えない。
町長 将来的な方向性は見出せていない。地域づくりに活用することと文化的な価値も合わせて再確認したい。

山里Roadにちなん
委託事業

う、声は上げていきたい。

町長 現状では困難と県警から回答があった。この件について知事からも県警本部に伝えると発言された経緯もあり、高齢者施策のなかで要望していくことは有りだと思

問 高齢者にとって、米子のみの免許更新手続きは、かなりの負担と危険性が伴っている。免許更新手続きの一部でも郡内でできないか。
町長 現状では困難と県警から回答があった。この件について知事からも県警本部に伝えると発言された経緯もあり、高齢者施策のなかで要望していくことは有りだと思



開かずの門状態の旧木下家門長屋

問 旧花見山スキー場の購入検討は

答 検討中でまだ報告できる段階でない



檀田洋一 議員

町長 活用について、町や町内の事業者と検討中であり、まだ報告できる段階でない。
問 リフト、建物等の撤去費用の積算はしているのか。
町長 概算金額の積算は行っている。

問 隣接する神戸上桑平山牧野農業協同組合と協議をされたのか。
町長 意見交換は行っている。また、民間事業者で森林を持つ考えもある。その方面にも打診している。

問 5月25日の全員協議会で報告のあった旧花見山スキー場の土地・建物購入の検討状況は。
町長 目指す姿は、住民生活に安全であることが最も重要である認識のもと検討している。

問 ①町が購入し活用②町内事業者が購入し活用③町外事業者が購入し活用④購入しないの4つの選択肢があると思うが。
町長 活用について、町や町内の事業者と検討中であり、まだ報告できる段階でない。

町長 公式会議では町内事業者の紹介や、外国人材育成雇用プロジェクトについて説明を行い、今後の連携を確認した。さらに職員の交流や親睦を図り、所期の目的は達成できた。

問 モンゴル中央県設立100周年記念式典の招待を受け訪問された成果は。
町長 業者の紹介や、外国人材育成雇用プロジェクトについて説明を行い、今後の連携を確認した。さらに職員の交流や親睦を図り、所期の目的は達成できた。



モンゴル交流

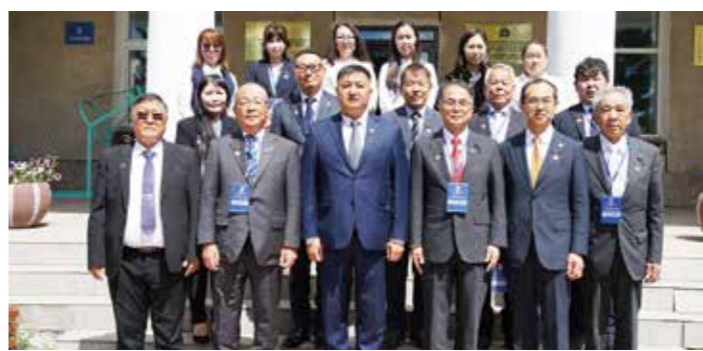
購入の打診があった花見山スキー場跡

町長 『継続は力なり』という諺があるが、来年度の訪問計画は。現時点では未定である。今まで相互交流という形をとってきたので、来年は来ていただく番であるが、情報を共有しながら検討したい。そして、途切れること

問 式典終了後に博物館で日南町の展示物をお願いしている。
町長 日南町に関する展示をされると聞いています。

問 ゾーンモド市との今後の展開は。
町長 ゾーンモド市側からの意見も考慮し交流を進めていきたい。

問 前回の訪問時の「共同実施プログラム2019」の中にゾーンモド市に「日南町」を命名したストリートを建設するとのあり、同意するとなつているが取り組み状況は。
町長 コロナ等で交流できなかったため進捗を確認できていない。



ゾーンモド市との交流

町長 日本語学級を訪問して生徒と直接話す機会があり、日本のマンガは人気があるし、日本語を覚えるのにアニメなどのマンガが非常に有効だと聞いた。今年度はマンガ本を送る計画をしている。

問 昨年ランドセルのプレゼント企画は成功であったと思うが、今年度の計画は。
町長 日本語学級を訪問して生徒と直接話す機会があり、日本のマンガは人気があるし、日本語を覚えるのにアニメなどのマンガが非常に有効だと聞いた。今年度はマンガ本を送る計画をしている。

町政のここが聞きたい

問 補聴器の購入補助を

答 補聴器購入補助の検討をすすめる



荒金敏江 議員

問 聞き取れない事が時々ある状態で補聴器を使い始めると音の認識が保てるので良いが、自分では気づきにくい。住民検診で聴覚検診をし、難聴を早く見つけて受診につなげる体制をつくるべき。

町長 聴力機能の低下により日常生活に不便が生じている方への適切な受診勧奨や、相談機関への案内等行っているが、更なる充実が必要。

問 補聴器は高額。障害者総合支援法の対象になると、低所得者は自己負担なし、市町村民税課税世帯は自己負担上限が3万7200円になる。支援法対象外への補聴器購入補助をすべき。

町長 補聴器の適切な活用により認知症やフレイル予防にも有効といわれている。

問 補聴器購入補助の検討をすすめる。

町長 補聴器を購入した後、調整が大切。使い

問 聞き取れない事が時々ある状態で補聴器を使い始めると音の認識が保てるので良いが、自分では気づきにくい。住民検診で聴覚検診をし、難聴を早く見つけて受診につなげる体制をつくるべき。

町長 健康福祉センターで月に一回行っている専門事業者による補聴器相談会等の活用をすすめると共に、適切な利用の継続支援に有効な情報を提供していく。

問 令和6年度から始める介護保険第9期にむけて、老人保健施設が多床室（相部屋）の有料化、低所得者の部屋代・食事代の軽減対象を更に限定するなど利用者負担増が検討されている。国の姿勢に対して町長はどう考えられるか。

町長 介護サービス利用者が増加している中、改訂が検討されている。介護保険制度の維持のために財源確保は重要であるが利用者への影響も十分に考慮すべきと考える。

介護給付費準備基金の推移

期別	積立金 (万円)	取り崩し額 (万円)	介護保険料
第3期 (H18~20)	5,030	0	4,200円
第4期 (H21~23)	58	4,050	H21 4,340円 H22 4,400円 H23 4,470円
第5期 (H24~26)	21,037	1,009	5,700円
第6期 (H27~29)	67	0	5,700円
第7期 (H30~R2)	30	0	5,700円
第8期 (R3~4)	69	0	5,700円
合計	26,291	5,059	

問 介護会計剰余金を積み立てた介護給付費準備基金積立金が2億円以上ある。これを使って介護保険料を軽減すべき。異常な物価高で生活が苦しい今だからこそ、介護保険料を軽減すべきと考えるか。

町長 第9期介護保険事業計画の策定に向けて9月に介護保険運営協議会を開催し、検討を行う。

問 町内には買い物できない店が無い地域が多い。移動販売が無くなり困っているとの声がある。町の支援で移動販売を復活すべきと考えるか。

町長 まずは実態を把握してみたい。

問 県の移動販売車運営補助制度もある。見守りを兼ねた制度もある。生活の楽しみにもなる。

町長 実態を把握して買い物支援のあり方を考えていきたい。

買い物支援

問 新規就農者向け支援は

答 相談にのりながら支援策を講じる



高橋洋志 議員

問 現在資格取得のために修学中の方を受け入れる政策は。

町長 本町ではインターンシップ制度を設けているほか、地域おこし協力隊インターンシップ制度を設けている。また、定住奨励金や各種人材育成奨学金制度を設け、財政的支援や動機付けとしている。

問 帰町して働きたい方の中に、牛を飼いたい方がいた情報は把握しているか。把握していればその対応は。

町長 個別の働きかけはしていないが、情報は承知している。本人の意向をいれながらできる形を取っていきたい。



日南の肥育牛

問 昨年度は営業車両に対して助成されたが今年度についてはどうされるか。

町長 今議会での事業者に対する町独自の燃料費高騰対策は予定していない。

問 農業機械で使用する化石燃料に係る軽油税の減免手続きを兼業農家にも広く周知すべきでは。

町長 免税軽油制度の利用者が増えるように広報誌、ホームページを利用して制度の周知を図る。

町営バスの経費
問 燃料高騰による経費増額は。

町長 200円の収入を得る経費が令和4年度404円アップで4799円となった。更に令和

町道整備
問 生山印賀線（尾郷、宝谷間）の工事進捗状況は。

町長 生山印賀線は予定していた改良事業は今年10月末完了予定。残りの生山印賀線の拡幅計画は、現在ない。

道路維持管理
問 国道をはじめ県及び町道のセンターライン及び側線の整備状況は。

町長 国道、県道については、順次作業している。町管理の町道・農道については、交通施設整備事業として9月中の契約を予定。

問 昨シーズンの雪害で道路に覆い被さっている杉の撤去状況は。

町長 鳥取県では、「倒木被害防災・減災対策



伐採が急がれる支障木

問 5年度もアップする見込み。

町道整備
問 生山印賀線（尾郷、宝谷間）の工事進捗状況は。

町長 生山印賀線は予定していた改良事業は今年10月末完了予定。残りの生山印賀線の拡幅計画は、現在ない。

道路維持管理
問 国道をはじめ県及び町道のセンターライン及び側線の整備状況は。

町長 国道、県道については、順次作業している。町管理の町道・農道については、交通施設整備事業として9月中の契約を予定。

問 昨シーズンの雪害で道路に覆い被さっている杉の撤去状況は。

町長 鳥取県では、「倒木被害防災・減災対策

建設課長
問 倒木により被害が出た場合の賠償責任は。被災者への賠償責任は地主にある。

町長 電柱に対する対策は、停電につながる危険性の高い順から対策を講じていく。

問 連絡会」を設立し、現地調査をし、事前伐採の対象となる木を選定し作業を始める方針。本町でも8月に現地視察し関連予算を、本議会に上程。

総務教育常任委員会 9月22日

一般社団法人山里Loadにちなんへの委託事業 (地域づくり推進課)

本年度委託事業予算総額 115,268千円
 (内訳) ・観光振興対策事業 64,370千円
 ・青年結婚UIターン事業 50,643千円
 ・その他管理委託料 255千円

職員体制は観光振興部門5人、青年結婚部門4人の総勢9人である。運営が2年目に入り、自主事業開発による自主財源の確保、各まち(むら)づくり協議会と連携した空き家情報の共有や活用策の検討など、持続可能な組織として活動していけるように、地域づくり推進課もしっかり連携して対策を進めていくとの説明を受けた。

- ◆自主事業の取組内容及び収益の取扱いの調査を行った。
- ◆空き家確保・活用事業に係る住宅借上げ、改修・修繕費用、改修の見積、入札、賃料、資産管理等の調査を行った。
- ◆空き家借り上げ改修業務に係る運用や移住パンフレットの配布先やホームページ活用等についての調査を行った。

デマンド交通(ドア・ツー・ドア)の運行状況 (地域づくり推進課)

昨年10月より町内全5路線で、朝・夕は小中学生の通学や通勤を兼ねた大型バス、日中は自宅から目的地へのつなぐドア・ツー・ドア型デマンドバスの運行から1年経過したので利用状況や今後の取組等について説明を受けた。

- ◆登録者の状況1,120人(町民の28%)
 - ・実利用者数・・・464人
 - ・延べ利用者数・・・8,620人
- ◆自宅まで侵入できない世帯数への対応状況は、59世帯から32世帯へ減少したが、今後は小型(6人3列シート)車両を来年度当初より導入出来るよう検討し対応していく。
- ◆今後の利用促進対策として、デマンドバスと巡回バスを組み合わせた乗り方が出来る利用方法の周知を行い利用者増を図る。
- ◆デマンドバスの色で、路線が一目で分かるような塗装方法等を検討する。

経済福祉常任委員会 7月14日・9月22日

いきいき百歳体操の支援(福祉保健課)

- ・活動団体は46団体。そのうち補助金を活用している団体は39団体。
- ・課題として、補助金の事務手続きや活動報告の簡素化が必要である。

木材団地造成地の活用状況(農林課)

- ・アスファルト舗装部分1600㎡は日南町森林組合の貯木場として使用。
- ・工場建設用地7600㎡については、現在事業化に向けて検討中。

道の駅にちなん日野川の郷の運営状況(農林課)

令和5年度道の駅売上(税込)

事業所	4月	5月	6月	7月	4-7月合計	
直売所	レジ通過者	7,217	8,782	5,812	8,723	30,534
	売上(円)	5,242,417	6,794,686	3,838,923	5,462,216	21,338,242
	※H30-R5の売上順位	2番目	3番目	6番目	4番目	3番目
	うち出荷者協	2,524,865	2,975,726	1,700,697	2,797,815	9,999,103
レストラン	レジ通過者	1,806	2,066	1,616	2,136	7,624
	売上(円)	1,565,800	1,914,190	1,440,070	1,901,670	6,821,730
	※H30-R5の売上順位	3番目	3番目	3番目	2番目	3番目

※売上順位は過去の同月比による

- ・コロナも5類に変わり、来客数が増え売り上げも増えている。今後の動向を注視したい。
- ・1品1円がどのように活用されるのか、出荷者協議会や消費者にも分かりやすく説明する必要がある。



町政のここが聞きたい

問 被爆アオギリの保護、PRを

答 平和の象徴となるよう検討する

問 被爆アオギリの保護、PRを
 体制は。いつから実施するのか。職員の受け入れ

町長 平成23年5月に町の若手職員により平和の象徴として植えられた。非核平和の町宣言をした自治体として被爆アオギリをしっかりと守り町内外にPRしては。住民の皆さんが、被爆アオギリを通して平和への想いを育むきっかけとなるよう検討する。

にちなん十色の保育時間延長

町長 現在、森林復旧のた

問 定期水質検査結果によると、森林開発地で検出される全窒素濃度が下がっていない。どう対処するのか。
副町長 名和農場のように排水しない方法は佐木谷では難しいので、広島の農場を見て欲しいとのこと。全体計画の方向性が決まればそれに合った農場を視察する。
問 ファロスファーム(株)へ名和農場の汚水処理施設の現地視察を申し入れたか。
町長 本年10月から本園で実施予定である。フルタイム職員のシフトを変更し、パートタイム職員で補強する。延長に伴い、保育教諭の負担が増すのでこの機会に処遇改善をすべきでは。負担軽減や処遇改善を検討する。

佐木谷の養豚場

問 可燃物処理施設の建設候補地(米子市彦名)の自治連合会から、選定のやり直しを求め、それが認められるまで話し合いに応じないとする要求書が提出されたが、説明が不十分だと認識ある。問口を広げてもらいたい話し合いができる態勢づくりをする。

町長 説明が不十分だと認識ある。問口を広げてもらいたい話し合いができる態勢づくりをする。
問 処理方法にさまざまな可能性がある中で、そもそも候補地の選定をすることに無理がないか。
町長 住民の理解が得られるよう努力していく。

ごみ処理広域化



米子市彦名町の建設候補地(●)

町長 ごみを減らす考え方はその通り。西部の市町村で話し合っただけで変更していく。

問 そうなると可燃ごみが減り、施設の規模が縮小できるのでは。

町長 プラスチック容器包装や製品プラをリサイクルする方向である。

問 具体的に基本構想をどのように見直しているか。

町長 西部圏域でごみ処理を一括処理する方針に変わりないので問題ない。

一般質問 問と答



岡本健三 議員



文化センター前の被爆アオギリ

教育長 本年10月から本園で実施予定である。フルタイム職員のシフトを変更し、パートタイム職員で補強する。延長に伴い、保育教諭の負担が増すのでこの機会に処遇改善をすべきでは。負担軽減や処遇改善を検討する。

問 可燃物処理施設の建設候補地(米子市彦名)の自治連合会から、選定のやり直しを求め、それが認められるまで話し合いに応じないとする要求書が提出されたが、説明が不十分だと認識ある。問口を広げてもらいたい話し合いができる態勢づくりをする。

町長 住民の理解が得られるよう努力していく。

問 そうなると可燃ごみが減り、施設の規模が縮小できるのでは。

町長 プラスチック容器包装や製品プラをリサイクルする方向である。

中心地域整備計画の進捗と今後のスケジュール（地域づくり推進課）

委託業務の締結

- ・事業名 日南町中心地域整備計画策定支援業務
- ・受託者 (株)荒谷建設コンサルタント米子事務所
- ・契約日 令和5年8月10日
- ・契約期間 令和5年8月10日～同6年12月10日
- ・契約金額 12,980,000円（税込み）

委託業務の内容

- (1) 計画準備
- (2) 中心地の現状把握・調査・分析
- (3) 整備費用の概算及び事業手法の検討
- (4) 住民ワークショップ 等全12項目

住民ワークショップの開催

- まち（むら）づくり協議会を対象に、令和6年7月までに各3回程度テーマを変えて実施
- 住民アンケートの実施
 - ・実施時期 令和5年10月～11月頃
 - ・対象者 1,000人 無作為抽出
- *アンケートを送付するのは1,000人ですが、町報に誰もが参加できるようにQRコードを掲載し、より多くの人が回答できる環境を準備する。
- ・最終的にパブリックコメントを行い、完成版を作成

新病院建設に係る基本構想策定事業及びへき地医療拠点病院指定申請（日南病院）

「日南病院あり方検討委員会」の実施経過

- ①令和5年6月13日 第1回委員会開催
主な検討事項・「病院を取り巻く医療体制の状況」
 - ②令和5年7月25日 第2回委員会開催
主な検討事項・「病院の現状と問題点」
 - ③令和5年8月29日 第3回委員会開催
主な検討事項・町民アンケート結果報告。規模・機能の検討など。
- 今後2回の委員会とパブリックコメントを開催し、答申案を決定。町長答申、議会報告、3月公表予定。

令和4年度無医地区調査結果

- 上萩山地区が新たに該当、県内3地区目
- 巡回診療
 - 無医地区指定になるとへき地医療対策として、巡回診療等が求められ、日南病院としては、つるぎ会館で巡回診療を、10月中を目標に検討、準備する。
- へき地医療拠点病院
 - 国は、無医地区の診療を行う病院に対し、「へき地医療拠点病院」の指定を行い、財政支援もする。
 - 巡回診療実績ができれば日南病院も申請を予定。

全員協議会

7月～9月に開催した全員協議会について報告します。

- 7月14日 養豚場新設に係る地元連絡協議会が新設され、7月6日に第1回目の会合が開催された。町からは現状の説明と地元からは事業者への要望事項を決めた、今後は定期的に会合を開催する。
- 第2回協議会が8月30日に開催された。
- 第2期総合戦略
 - 6月30日に第三者評価委員会が開催され、令和4年度の重要業績指標状況に基づき評価が行われた。特に全23項目の内遅れている10項目について、課題と今後の取組みについての説明を受けた。
 - ◆国保税の算定方式変更
 - 来年度より現行の4税（所得割・資産割・均等割・平等割）方式から資産割を廃止し3税方式への変更を検討する。他町の状況を確認し税率の試算を行い、国保運営審査会に諮問する。
 - ◆带状疱疹ワクチン助成
 - 6月議会の補正で50人分

- 9月14日 ◆鳥取県の同性パートナーシップ制度
 - 10月から施行される鳥取県の制度要綱に基づき、町としての対象となる行政サービス等や申請手続き等の説明を受けた。
 - ◆地域おこし協力隊の募集
 - 令和6年4月採用の募集を早期に開始すること、新設の日南町半学半地域おこし協力隊の説明を受けた。
 - ◆こども園保育時間延長
 - 保育時間を午前7時30分～午後6時30分に変更し、10月2日より開始するとの報告を受けた。
- 9月27日 ◆ごみ分別モデル（案）
 - 令和14年稼働のごみ処理施設における処理対象物を検討するにあたり、西部広域行政管理組合及び構成市町村と協議を進めている。



ゾーンモド市との協力公式会議

モンゴル訪問記

7月24日～28日

モンゴル中央設立100周年記念行事にゾーンモド市より招待を受け、議会からも山本議長、近藤副議長、櫃田委員長の3人が参加しました。

飛行機から降り立つと広大な草原が目に見え、異国情緒溢れる風景に感動。今回の訪問はコロナ禍で中断されていた人材交流の再開と、町内の労働者不足問題の解決に向けた取り組みの一環として(株)オロチ、日南福祉会、商工会の参加もあり、充実した会談を持つことができました。何よりモンゴルの方たちが日本人に対してリスペクトしてくれる姿勢に触れ、今後の交流がよい方向に進むのではと期待を膨らませる4年振りの交流となりました。

議会報告会&意見交換会のご案内



日時 令和5年11月1日(水)

午後6時～8時

会場 日南町総合文化センター
多目的ホール

日時 令和5年11月2日(木)

午後6時～8時

会場 阿毘縁地域振興センター

議員全員が参加して議会で取り組みなどを報告し、町民のみならず意見交換を行います。

町内2会場で行います。どなたでも、どちらの会場でもお気軽にお越しください。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

ざっくばらんに話しましょう

議会活動報告

- (8月)
 - 7日 鳥取県町村議会広報研修会
 - 21日 西部町村議会議員研修会
 - 22日 日南町戦没者追悼式
 - 28～29日 町議会広報研修3人
 - 30日 議会運営協議会
- (9月)
 - 5日 9月定例会本会議
 - 6日 9月定例会本会議
 - 7日 9月定例会本会議
 - 8日 決算審査特別委員会
 - 11日 決算審査特別委員会
 - 12日 決算審査特別委員会
 - 13日 決算審査特別委員会
 - 14日 決算審査特別委員会
 - 15日 中心地域及び住宅政策調査特別委員会
 - 20日 決算審査特別委員会
 - 22日 決算審査特別委員会
 - 27日 9月定例会本会議
- (10月)
 - 6日 議会広報常任委員会
 - 10日 議員研修1人
 - 13日 議会広報常任委員会
 - 16日 議員研修1人
 - 18日 日野郡町議会議員研修会
 - 27日 9月定例会本会議
 - 29日 9月定例会本会議

行政調査報告

議員全員で構成する行政調査特別委員会（委員長・岩崎昭男）は、日南病院建築に向けた町民の合意形成や基本計画作成の参考とするため、岡山県鏡野町（鏡野町国民健康保険病院）及び香川県三豊市（みとよ市民病院）の調査を行いました。

○調査期間

令和5年6月27日～29日

○調査先

岡山県鏡野町役場
香川県三豊市立みとよ市民病院

○調査概要

鏡野町国民健康保険病院

昭和27年に町立鏡野病院として開院。昭和38年に移転をしたのち、平成元年現在地に新築移転し、平成16年から一般病床48床と療養病床40床の計88床で運営している。しかし、老朽化と自然災害による水害対策が課題となり、令和4年1月に「鏡野町立病院あり方検討委員会」が設置され、令和5年2月に新病院整備基本構

想が策定され、4月には基本計画がまとめられた。

新病院は水害に対する立地条件を考慮し移転新築することとし、一般病床50床と医療療養病床20床の合計70床に縮小された。令和10年度の開院を目標として、建設はE・C・I方式を採用することで、コストの削減と工期短縮を図られている。



鏡野町庁舎にて

【町概要】

◆人口12,317人、5,626世帯、面積419.68km²



岡山県鏡野町 鏡野町国民健康保険病院

香川県三豊市 みとよ市民病院

【現在の病院の概要】

◆平成元年5月建築
◆診療科は内科、小児科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科
◆病床数は一般病床48床、療養病床40床
◆医師は常勤医師5人、非常勤医師5人

【新病院の概要】

◆令和10年に開院目標
◆診療科は内科、小児科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科
◆病床数は一般50床、療養20床

本構想を策定すべきである。



職員の意見を取り入れ設置した廊下の物入れ

香川県三豊市立みとよ市民病院

◆個室は許可病床数の3割以内で整備する
◆外来想定患者数は200人から230人
◆延床面積5600m²程度
◆概算工事費約55億円（うち建築工事費約37億円）

平成19年に耐震診断が実施された際、前身の永康病院の本館棟が緊急に改修等の措置が必要と診断され、非耐震性建物の対策を要することとなった。

平成28年に執行部から永康病院地内での建替え案が議会に示された。市議会は永康病院調査特別委員会を設置し、検討を重ねた結果、平成29年に別の場所に移設及び建設するのが適切であると報告した。平成31年に執行部から現在地を建設場所とするこの提案があり、議会は承認した。

◆人口73,288人、23,952世帯、面積222.7km²
◆令和4年5月開院



みとよ市民病院にて

事費の高騰などの問題があるため、十分な検討が必要である。

◆医療スタッフの地元雇用確保が極めて困難が想定される中、福利厚生設備の充実も検討していく必要がある。

◆鏡野町では、平成31年1月から庁内で検討協議を始めた。4年後の令和4年4月に「病院あり方検討会」を立ち上げ、令和5年2月に基本構想を策定している。また、三豊市の場合、耐震診断で改修が必要とされ、10年程度かけて市立2病院の統合再編や、永康病院の建て替え等が検討された後、平成29年に基本構想を策定している。両病院とも建設決定までに十分な期間をかけた慎重な議論がされていたと感じた。それに比べ、新日南病院の建設決定は唐突で拙速すぎると思われる。

考察（議員の感想等）

◆両病院とも基本構想策定から工事完成まで5年程度を要している。新日南病院も今年度中に基本計画を策定し、最短で令和10年春に開院の予定であり、全体的な計画期間は妥当と考える。

◆三豊市では、市民ワークショップを開催し56人が参加し、新病院に対する期待

◆鏡野町の新病院は従来通り、国の指針に従い計画されているようである。対してみとよ市立病院では病院建設にあたり、伊関教授がアドバイザーとして参加し、その考えが大きく反映されていた。新日南病院建設に際しても専門家のアドバイザーは重要であるが、アドバイザーによって病院に対する考え方は異なるため、依頼する際に慎重な判断が必要である。

◆みとよ市民病院では、病院スタッフの意見をセクショングンごとに収集し、広い廊下、トイレのある個室とない個室、一部の多床室、廊下の物入れなどスタッフの希望にに応じた病院づくりが行われていた。日南病院でもスタッフとの意見交換を十分に行い、それを踏まえて基

◆両病院とも建設手法としてE・C・I方式を採用し、設計段階より施工者の技術力を活用してコスト削減と工期短縮を図っている。この方式も一つの選択肢であるが、他の方式も比較検討する必要がある。

◆みとよ市民病院では、職員の働きやすい環境や新型コロナウイルス感染症に対応できる設備にするためには、新病院建設を検討すべきであるが、高齢の患者が多い現状や新病院建設用地の確保、建設工



個室病床が特徴のみとよ市民病院

◆今回調査した病院は、病院の新築が決定している例と、病院を既に新築し終えた例である。そのため、この2例では病院新築のデメリットが分かりにくい。他の市町村で病院の新築でなく別の解決方法を採用した例についても調査が必要である。

道 どっこい、この町に生きる 草



鍼灸とお年寄りの話し相手は得意です

野口 南美さん (茶屋)

今の生活スタイル

町内を中心に鍼灸治療と、もみほぐしをお家に伺って施術しています。地域で頑張っておられる人も応援したいので、山上のパン屋「さくらんぼん」の配達や「アマダス茶屋」でホールスタッフのアルバイトもしています。

鍼灸との出会い

中学校総体県大会の200m決勝のスタートで、一步踏み出した時に股関節に痛みが走って一瞬止まったんです。競技終了後に大森トレーナーズRoomに連れて行かれ、電気治療をしてもらいました。はりが怖かったのに全然痛くなくて感激しました。

鍼灸師を目指したいきさつ

高校卒業時に、母親に何でもいから資格を取れと言われ、中学時代の体験を思い出し調べたら訪問系もあり、日南に帰ってもできるじゃん、大阪にある専門学校鍼灸学科に進学しました。

卒業後の進路

大阪の訪問鍼灸とマッサージの会社に就職。殆ど歩けない人や認

知症の進んだ方の施術、家族の人から独居の人の見守りや、話だけでいいからと指名もありました。私はひいおばあちゃん子なので、お年寄りの話し相手は得意です。

日南に帰るきっかけ

都会は空が狭く息苦しさを感じていたし、隣に誰が住んでいるかわからない寂しさ、透明な川が見たい願望が強くなっていった頃、原付で毎日移動する仕事なのに、トラックに追い抜きざま接触され大事故に、それから乗るのが怖くなり「それなら帰ろ！」となりました。

日南に帰ってから

農協に就職し2年半勤務しましたが、父方のおばあちゃんが病気になるって足がむくんでいたのでお灸をしてあげた時、「あく私はやつぱりこっちがいい」と決断しました。

鍼灸師開業の歩み

親戚や両親の知り合いでスタート。「さくらんぼん」の配達の中でチラシを配り、「アマダス」で来客者にも知ってもらえる機会もできて、今では□□でも広がっている感じがします。

大切にしていること

お年寄りとの時間を大切にしたいし、一人一人に寄り添った施術をしたいので多くのお客さんは求めません、お年寄りの記憶にチョットでも残ったうれしいなあ。

町に求めるもの

やっぱりお年寄りの移動手段かな。デマンドバスやドアtoドアが本当のドアtoドアになって欲しいし、病院終わりのお年寄りが多いので、せめて病院発ぐらい予約なしで乗れたら。それと移動販売を充実させて買い物喜びをお年寄りに届けて欲しい。



「死ぬまで頼む」と利用者さん

編集後記

「(アオギリは)あの日の恐ろしい地獄の事実をすべて覚えております」。戦争で婚約者を失った原爆で片脚を失った絶望のどん底で自殺さえ考えながら被爆アオギリに生きる勇気をもらい、その2世3世を全国へ広めた沼田鈴子さんの言葉です。

原爆投下により広島・長崎に生き地獄が現れてから78年。被爆した方の平均年齢は今年85歳を超えました。プーチン氏の核の脅しで終末時計が史上最短の90秒を示す現在、かつて役場職員の方が平和の象徴として植えられた被爆アオギリが、次の世代が戦争のむごさ酷さを語るきっかけとなることを願っています。

岡本健三記

発行責任者

議長 山本 芳昭

議会広報常任委員会

委員長 高橋 洋志
副委員長 荒金 敏江
委員 岡本 健三
岩崎 昭男
大西 保
近藤 仁志